



デジタル耳せん MM4000

取扱説明書

セット内容の確認

MM4000本体／クリップ／イヤフック／イヤピース(XS、S、M、L)／取扱説明書(保証書付)



アンケート実施中

<http://kj-q.com>  
抽選で謝礼を進呈いたします  
※PC、スマホ、タブレットのみ対応

このたびは、デジタル耳せん MM4000をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品をご使用のときは、必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は保証書を兼ねています。すぐにお手にできる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。

- 商品の見直しなどのため、仕様・価格・デザインその他は予告なく変更する場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本製品は日本国内専用です。
- 本書の作成には万全を期していますが、万一誤りなどがございましたら、当社までご連絡ください。
- キングジム、KING JIM、デジタル耳せんは、株式会社キングジムの商標または登録商標です。

主な仕様

ノイズキャンセリングレベル	-20dB(ノイズキャンセリング「強」時、当社独自の測定法による)
外形寸法	電池ボックス：約6.1(W)×1.5(D)×2.6(H)cm(クリップ除く) ケーブル長：約60cm
質量	約30g(クリップ、ケーブル含む、電池除く)
電源	単4形アルカリ乾電池×1本(別売り) ※上記以外の電池はご使用になれません。
連続使用時間	約85時間(ノイズキャンセリング「強」使用時)
防塵・防水性能	IP54相当
同梱品	MM4000本体／クリップ／イヤフック／イヤピース(XS、S、M、L)／取扱説明書(保証書付)
動作環境	温度 5～35℃ 湿度 30～80%(非結露)
保存環境	温度 -10～55℃ 湿度 5～80%(非結露)

安全上のご注意 **必ずお守りください!**

お使いになる方々や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本製品をご使用のときは、必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

●次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

- ⊙ は、してはいけない「禁止」の内容です。
- ❗ は、必ず実行していただきたい「強制」の内容です。

**⚠ 危険** この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。

- ❗ 電池はお子様が進み込まないように、手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと大変危険です。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- ❗ 電池の内溶液が目に入ったときは、失明などの障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに多量のきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。
- ⊙ 高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下)、高温多湿やほこりの多い場所での本製品の使用や給電、放置、保管をしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。
- ⊙ 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。

**⚠ 警告** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。

- ❗ 使用後はお子様の手の届かない場所に保管してください。イヤフックやイヤピースなどを飲み込むおそれがあります。
- ❗ 電池の内溶液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流してください。
- ❗ 本製品を長時間使わない場合や、電池を使い切った場合は、本体から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- ⊙ ペースメーカーなどの医療機器を装着した人にマグネット部を近づけることは、大変危険ですでおやめください。医療機器の正常な動作を損なうおそれがあります。
- ⊙ 自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しないでください。交通事故の原因となります。
- ⊙ 周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など)では使用しないでください。
- ⊙ 直接日光の当たる場所、暖房器具の近くに置かないでください。
- ⊙ 電池は極性通りに入れてください。間違った極性で入れた場合、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本製品を破損させるおそれがあります。
- ⊙ 指定している電池以外は使用しないでください。
- ⊙ 本製品を分解、または改造しないでください。故障、火災、感電の原因となります。
- ⊙ 本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。

**⚠ 注意** この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- ❗ 肌に異常を感じた場合は、すぐに使用を中止してください。
- ❗ 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- ❗ イヤホンを耳から外したときは必ずイヤピースがイヤホンに付いているかを確認してください。
- ❗ イヤピースが耳の中に残り取り出せない場合はすぐに医師の診察を受けてください。本製品は耳をふさぐ形状のため、蒸れによりかゆみなどを感じることがあります。その場合は一旦使用を中止してください。
- ❗ 万が一、本製品または本製品の一部が破損した場合、そのまま使用せずすぐに使用を中止してください。

お取扱上のご注意

- 乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じることがあります。これは人体に蓄積された静電気によるもので本製品の故障ではありません。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線(特に直射日光)や摩擦により変色することがあります。
- ケーブルを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- 本製品の近くに発信機(携帯電話など)があるとノイズが入る場合があります。その場合は、離すようにしてください。
- 航空機内で電子機器が使用禁止になっている場合は、本製品を使用しないでください。
- 本製品は完全防塵・防水仕様ではありません。電池蓋が完全に閉まりロックされた状態で、IP54等級相当の防塵・防水性能となっています。  
※IP54等級とは、有害な影響が発生するほどの粉塵が中に入らない、またあらゆる方向からノズルで注水することに対して、本体機能を保護するものです。

- 次のことはしないでください。故障の原因となります。
  - ・お湯や水の中に入れてない
  - ・多量の水をかけない
  - ・強い水しぶきをかけない
  - ・お湯、石けん、洗剤、入浴剤をかけない
  - ・風呂場など水がかかる場所や湿気の多い場所では、電池蓋を開閉しない
  - ・湿気の多い風呂場などには長時間放置しない

●水に濡れた場合には、乾いた柔らかい清潔な布などで拭き取ってください。濡れたまま放置しないでください。

●本製品を拭く際は、乾いた柔らかい清潔な布をお使いください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの化学製品は使用しないでください。

●本製品を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあります。

●本製品のマグネット部には強力な磁石が使用されています。パソコンなどの電子機器・時計・磁気カードのような、磁気の影響を受けるおそれのあるものを近づけないでください。

アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店名・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。製品および保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。製品をお買い上げ販売店までお持ちください。なお、当社の都合により代替品に交換することで修理に代えさせていただく場合がございます。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、キングジム商品取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

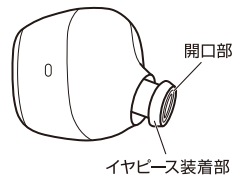
フリーダイヤル(全国共通)	ネットクのパートナー	<b>株式会社キングジム</b>
<b>お客様相談室 ☎0120-79-8107</b>		
FAX からの場合	0120-79-8102	東京都千代田区東神田二丁目10番18号
携帯電話からの場合	0570-06-4759 <small>※通話料お客様負担</small>	〒101-0031
受付時間	平日(月～金曜日) 午前 9:00～午後 5:00	<a href="https://www.kingjim.co.jp/">https://www.kingjim.co.jp/</a>

お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、ベンジン、アルコール、シンナーなどの化学製品は使用しないでください。

●イヤホン部について

乾いた柔らかい清潔な布で汚れを拭いてください。特にイヤピース装着部(右図参照)は、イヤピースを通して皮脂などの汚れが付着します。汚れが付着したまま使用すると、イヤピースが外れやすくなります。こまめに汚れを拭いてください。なお、イヤピース装着部先端の開口部は繊細なため、触らないようにしてください。故障の原因になります。



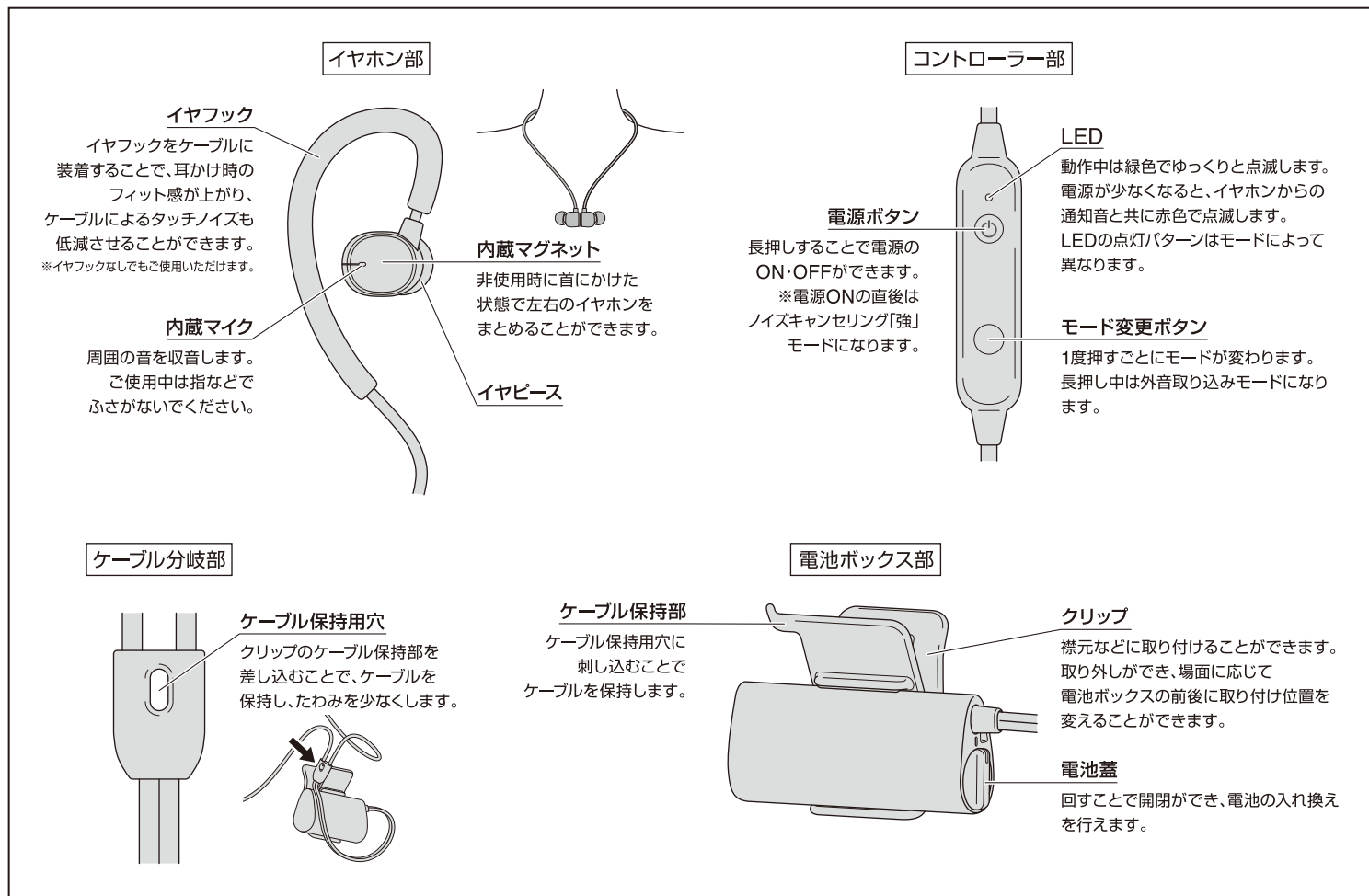
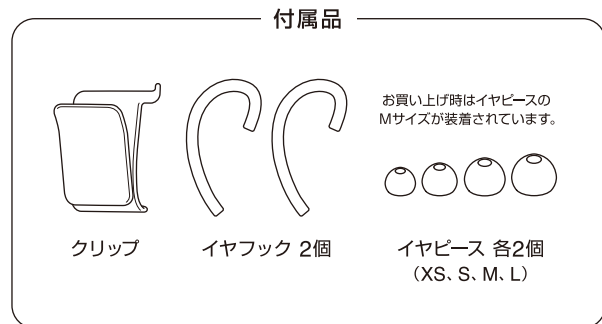
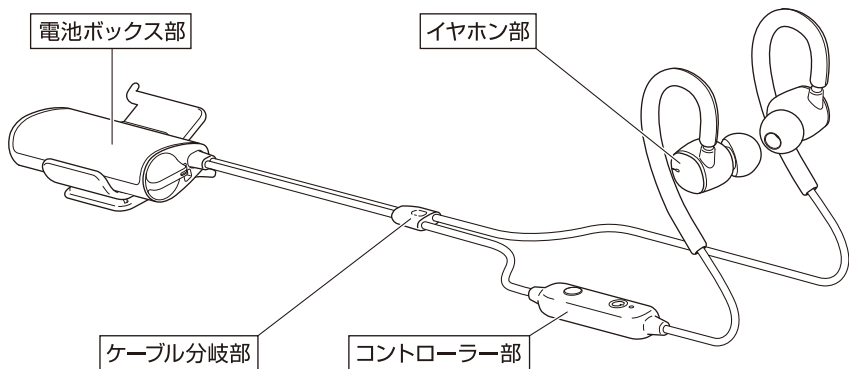
●イヤピースについて

イヤホンからイヤピースを外し、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は乾いてからご使用ください。

●コントローラー部、電池ボックス部、その他について

乾いた柔らかい清潔な布で汚れを拭いてください。

## 各部名称と機能



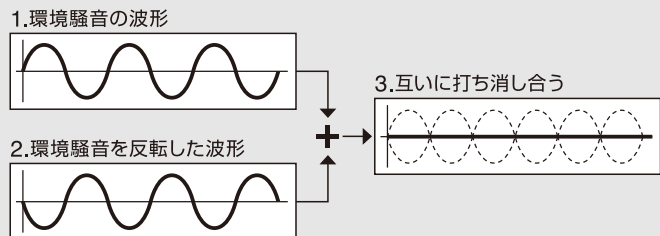
### ノイズキャンセリングの仕組み

本製品は、イヤホンに内蔵された小型マイクで周囲の環境騒音(乗り物内での騒音やエアコンの空調音など主に300Hz以下の騒音)を收音し、その逆位相の音を出して騒音を打ち消す仕組みになっています。

この仕組みによって、乗り物内での騒音やエアコンの空調音などの環境騒音は効果的に低減させますが、人の声やアナウンス等はしっかりと聞き取ることができます。

- ※全ての騒音を低減できるわけではありません。
- ※静かな場所や騒音の種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない場合があります。
- ※本製品のノイズキャンセリング機能は主に300Hz以下の騒音を低減させるため、それ以上の周波数成分の多い騒音(電話の着信音、話し声など)や、突発的な音に対しては聞き取ることができます。
- ※イヤホンから「サー」という音がする場合がありますが、これはノイズキャンセリング機能の動作音で故障ではありません。
- ※イヤホンの装着具合によっては、ノイズキャンセリング効果が得られない場合があります。同梱のイヤピースから耳に合っているものを選び、しっかりと耳に装着するようにしてください。
- ※マイク部を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング効果が得られない場合があります。

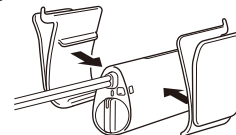
- イヤホンに内蔵された小型マイクで周囲の環境騒音を收音
- 本体のノイズキャンセリング回路で逆位相(反転)の音を発生
- 2つの波形の合成により、耳元では騒音が打ち消される



## 使いかた

### 1. クリップを電池ボックスに取り付ける

クリップは電池ボックスの前後どちらからでもつけることができますので、場面によって使い分けてください。取り付け位置を変える際は、上下かバチンとはまるまで押し込んでください。



#### MEMO

・クリップを外した状態でも本製品はご使用いただけますが、ポケットなどが無い場合は電池ボックスの落下防止のためクリップの使用を推奨します。

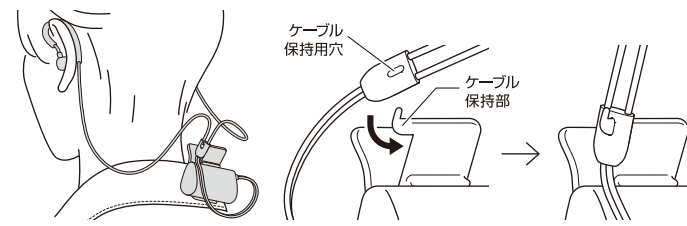
#### 注意

クリップはしっかりと外れないように取り付けてください。クリップの取り付けが甘いと、製品が落下し、故障する可能性があります。

### 2. ケーブルの取り回しを調整し、クリップで電池ボックスを固定する

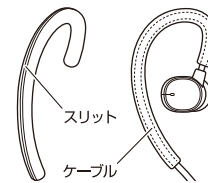
【襟元などに電池ボックスを固定する場合】

クリップを襟元などにしっかり取り付けます。ケーブル保持用穴にクリップのケーブル保持部を挿入することでケーブルを固定し、たわみを減らすことができます。



【イヤホンをつけて使用する場合】

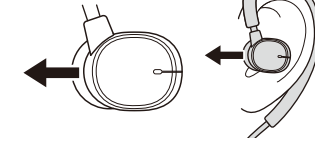
イヤフックをケーブルに装着することで、耳かけ時のフィット感が上がり、ケーブルによるタッチノイズも低減させることができます。背面のスリットから、イヤフック全体にケーブルが通るようにケーブルを挟んでご使用ください。



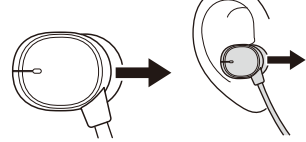
### 3. 両耳に装着する

イヤホンの左右はつけ方によって入れ替わります。装着方法にかかわらず、イヤピースが前を向くように装着してください。

【耳かけ方式】



【ストレート方式】



### 4. 電源ボタンを長押しして電源をONにする

#### MEMO

- ・電源がONになると、ピーという音と共に緑色LEDが点灯し、その後ゆっくりと点滅を繰り返します。
- ・LEDが赤色に点滅している場合や、緑色のLEDが点滅しない場合は電池残量が足りない可能性があります。電池交換をしてください。

### 5. モードを変更する

モード変更ボタンを単押しすることで、緑色LEDの点滅と通知音と共に下記の順番でモードが変更になります。



- ※長押し中は外音取り込みモードになります。
- ※動作中、LEDはゆっくりと点滅を繰り返します。

【ノイズキャンセリング強/弱】

環境騒音を低減することができます。人の声やアナウンス等は聞き取ることができます。“弱”の場合は“強”よりも騒音の低減レベルが小さく、周囲の音が聞き取りやすくなります。

【外音取り込み】

デジタル耳せんを着けたまま周囲の音をハッキリと聞き取ることができます。※ノイズキャンセリングは無効となります。

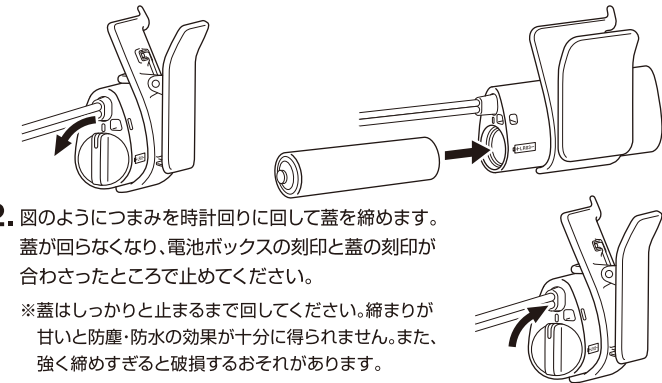
## 6. 電源ボタンを長押しして電源をOFFにする

#### MEMO

・ピーピーという音と共に緑色LEDが点滅し、電源がOFFになります。

## 電池の入れかた

- 図のように蓋のつまみを反時計回りに回して電池蓋を開け、手前が+側になるように単4形アルカリ乾電池を1本入れてください。  
※必ずアルカリ乾電池をご使用ください。充電池などを使用した場合は故障の原因になります。



- 図のようにつまみを時計回りに回して蓋を締めます。蓋が回らなくなり、電池ボックスの刻印と蓋の刻印が合わさったところで止めてください。  
※蓋はしっかりと止まるまで回してください。締めりが甘いと防塵・防水の効果が十分に得られません。また、強く締めすぎると破損するおそれがあります。

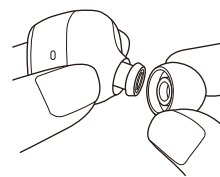
## イヤピースについて

### ●イヤピースのサイズについて

本製品は、4サイズのイヤピースXS、S、M、Lを同梱しており、お買い上げ時はMサイズが装着されています。最大のノイズキャンセリング効果を感じていただくために、耳にあったイヤピースのサイズに換えて、イヤピースを耳の収まりのよい位置に調節してください。イヤピースが耳にうまく装着されていないとノイズキャンセリング効果が実感できないことがあります。

### ●交換のしかた

イヤピース装着部からイヤピースを外し、別のイヤピースを斜めから押し当てます。(右図参照)内側を広げるように強く押し込み、奥までしっかり取り付けてください。※イヤピースが外れにくい設計にしているため、取り付けが苦しくなっています。



#### 注意

- イヤピースは汚れが付きやすいため、定期的に取り外しお手入れをしてください。
- イヤピースは消耗品のため、保存や使用により劣化します。本体から外れやすくなるなどの劣化が見られた場合、イヤピースを交換してください。交換イヤピースに関するご相談は、お買上げ販売店、キングジム商品取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。
- 一度外したイヤピースをイヤホンに付ける際は、確実に取り付けられているかを確認してください。イヤピースが耳の中に残ったまま放置すると、けがや病気の原因になります。

## 故障かな?と思ったら

Q1: ノイズキャンセリング効果が感じられない

- A1: コントローラー部のLEDが緑色に点滅していることをご確認ください。LEDが赤色に点滅、または消灯している場合は電池を交換してください。
- A2: イヤホンを装着し直してください。イヤホンと耳の位置が良くないと効果が感じられない場合があります。
- A3: 同梱のイヤピースから耳に合っているものを選び、しっかりと耳に装着するようにしてください。
- A4: 周囲の騒音がキャンセリング周波数に合わない場合があります。詳しくは【ノイズキャンセリングの仕組み】をご参照ください。

Q2: 「ブーン」、「パタパタ」といった音が聞こえる

- A: 近くにある携帯電話やコンピュータ関連機器のノイズを拾っている可能性があります。ノイズを発生させる機器から遠ざけてご使用ください。

Q3: 電源を入ると「サー」という音がする

- A: ノイズキャンセリング機能の動作音です。故障ではありません。

Q4: 電源が落ちる

- A: 電池残量が少なくなっている、もしくは完全に放電している可能性があります。電池残量が少なくなっている場合は電池を交換してください。

Q5: 「ピー」という音がする

- A: 内蔵マイクを手で覆う、またはPCなどのスピーカーにイヤホン部を近づけるなどと「ピー」という音(ハウリング)がする場合があります。故障ではありません。